

牧師室から (2023.4.30)

「だから、キリストと結ばれている人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」(Ⅱコリント5：17)

今日(30日)主日に与えられたドイツ福音主義教会の共通のみ言葉である。奇しくも本朝は「キリストに結ばれて歩む」と題して今年度の標語に準じて、コロサイ書からメッセージを聴くことにしている。この二つの聖書箇所で共通しているのは「キリストに結ばれている」ということである。

「キリストに結ばれている」ということは、もちろんキリストから離れていないということでもあるが、むしろここでは「キリストの内にあって」というニュアンスである。またここで気が付いたのは「新しく創造された者」というように「モノ」が漢字であり、続く文では「古いもの」、「新しいもの」とひらがなになっていることである。このような表現はうまいなと思った。「者」は人だが、「もの」には人も物も含まれるのだ。私たちの全存在、魂だけではなく肉的なもの、物質的な存在を含めての全人的な変化を指しているように思われる。つまり、キリストに結ばれている者は、その存在が生まれ変わり、肉においてもこの世に生きるが新しいものとして、新しい世界観の中で生きることになる。魂だけではなく、肉を持っている人間としての「どのように生きるか」がキリストによって示されるのである。キリストの内にいるものは、キリストが導く生き方の中で存在する。主に選ばれた者に対する積極的で徹底的な約束であり、宣言である。

主イエス・キリストを通して私たちが新しくしてくださる神様の計り知れない愛の確実さに感謝しかない。

(鈴木淳一牧師)